

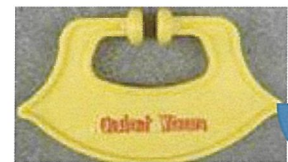
母子同居の離乳でお困りの方へ

「へら型鼻かん」の活用を
オススメします

離乳の時...

- ・子牛のエサ食い、発育が落ちる。
- ・牛が鳴き続けて近所迷惑が心配

「へら型鼻かん」
(市販：1個約1,300円)



離乳1週間前に子牛へ装着

◇仕組みと注意点

- ・子牛が母牛の乳首を吸えなくなるが、母子同居の状態
で離乳が始まるため、母子のストレスが小さくなります。

※ 注意点

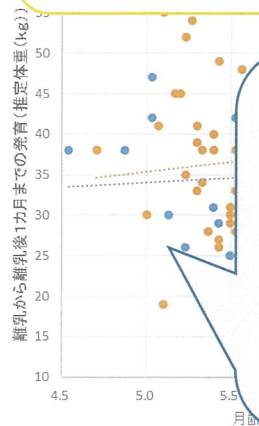
子牛の飲水量が不足します。水飲み用のバケツや
桶を設置してください。

◇効果

未装着の牛と比べて発育が7%向上した
例もあり、離乳後の体高、胸囲が増加し、
全体的に明らかに良好な発育が見られた。

協力生産者の声

離乳した後に子牛が鳴くこ
とがかなり減った。鼻かん
を嫌がり外す子牛もいたが、
ほとんどの子牛はすぐに慣
れた。離乳後の食い込みが
良くなった。



お問い合わせ先

【牛の管理・放牧地の管理関係】

置賜総合支庁産業経済部
農業技術普及課 畜産担当

TEL：0238-57-3411

FAX：0238-57-3414

置賜総合支庁産業経済部

西置賜農業技術普及課 畜産担当

TEL：0238-88-8216

FAX：0238-83-1119

【施設・設備の整備等に係る補助事業関係】

置賜総合支庁産業経済部

農業振興課 畜産担当

TEL：0238-26-6053

FAX：0238-21-6941

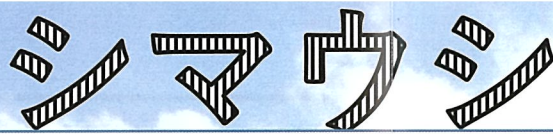
繁殖牛を 飼育している 生産者の 皆様へ

畜産と稲作の兼業農家の皆様へ、
飼料費削減に向けて、**簡易放牧**
に取り組んでみませんか？

簡易放牧の拡大に向けて、置賜
総合支庁で実証した「**ゼブラ柄塗
装(シマウシ)**による吸血昆虫対
策」をご紹介します。

子牛の離乳ストレスによる発育
停滞解消に向けて、離乳用「**へら
型鼻かん**」の効果についてもご紹
介します。

令和6年1月
置賜総合支庁農業振興課



を活用した放牧で飼料費削減

◆ 「シマウシ」とは

シマウマ模様に塗装した牛を「シマウシ」と呼んでいます。

～期待される効果～



放牧の際に問題となる吸血昆虫（サシバエ、アブ）によるストレスを軽減することで、採食行動、休息時間の増加と生産性の向上が期待できます。



◆ 協力生産者の声

最初始める時は半信半疑だったが、やってみたら本当に虫が来なくて本当に驚いた。

しっぽを振る回数が、明らかに普通の牛と比べて少なかった。放牧中も心配していた他の牛からのいじめもなく、穏やかに過ごしていた。

◆ シマウマ模様を施す

牛の体に3～4cm幅の線を描き、シマウマ模様に塗装します。

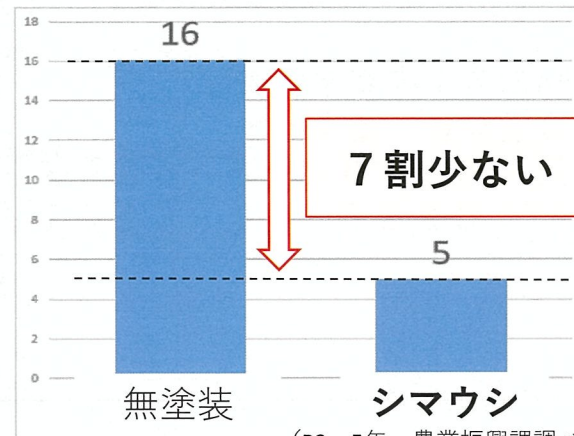
塗料は理容用のブリーチ剤、又はスプレー塗料を使用します。



◆ 検証結果

1 忌避行動の減少

牛が吸血昆虫を避けるために行う忌避行動（尾・首振り、脚上げ）の回数をカウント（回/頭/1分あたり）



2 塗装の持続性

- ①ブリーチ剤の場合：6週間ほど持続。季節や個体差はあるが、8週間ほどで自然な状態に戻る。
- ②スプレー塗装の場合：1週間ほど持続。



30日後
(脱色の場合)

◆ コスト

①ブリーチ剤：約2,500円/頭/回（6週間に1回）

所要時間：5分～10分（+30分静置）

（必要な資材：脱色剤200g、希釈液400ml）

②スプレー塗装：約1,250円/頭/回（1週間に1回）

所要時間：5分

（必要な資材：ウレタンスプレー0.5本/頭）